

介護部門

		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
【教育育成能力】	社会面	①介護倫理や尊厳を理解し、尊厳ある介護の実践ができる ②施設の特長と業務内容を理解できる ③介護の実践において「介護とは何か」を考えることができる	①介護実践を通して、自己の介護観を表現できる	①研究的視点をもって介護実践を行い、主体的に介護研究に取り組むことができる	①自己の専門性を目指し、研究テーマを実践の中から選択し、取り組むことができる
	人材育成		①研修で学んだことを現場で発表報告ができる ②プリセプターの役割を果たすことができる	①施設内外の研修の内容を現場へ還元し、介護実践に活かすことができる ②介護職に必要な知識と技術を根拠に基づき、下位者に対して指導ができる ③指導を受けながら実習指導者マニュアルに沿って学生の指導ができる	①熟練された介護実践を下位者に対し指導できる ②教育プログラムにて、指導者として企画・運営することができる
	自己研鑽	①自己の介護を振り返り、できること・できないことを明確にして、不足部分を学習できる ②介護に必要な知識について、マニュアルや介護技術チェック表にそって主体的に学習できる ③苑内研修に主体的に参加し学習できる ④エビデンスに基づいた介護を実践する為の基礎的な知識を学ぶ	①施設内外の研修に自主的・積極的に参加し学習する ②疑問に対して主体的に学習し、実践に役立てることができる ③自己学習計画を立て知識、技術を高めることができる	①自己の介護課題をもって自己学習に取り組むことができる ②施設内外の研修に自主的・積極的に参加し、専門職として自身の介護観に反映させることができる	①新しい技術や知識の吸収に努力し、自己啓発を継続的に行いながら介護実践を行うことができる
【人間関係形成能力】	社会面	①組織人としての接遇を身に付けることができる ②社会人としてのモラルや倫理観を持って行動することができる ③利用者の尊厳を守り、利用者を尊重した関係性を築くことができる ④利用者から学ぶという謙虚な姿勢をもてる ⑤自分自身の感情、思考、行動の傾向を知ることができる	①自分の行動が相手に与える影響を理解できる ②社会人としての接遇マナーを実践することができる ③自分自身及び同僚の立場や役割を理解し、相互に肯定的な関わりができる ④自己の感情のコントロールが意識できる	①部署内職員、多職種との連携を円滑に図り協働することができる ②接遇のモデルとなることができる ③支援を受けながらトラブルの対応ができる ④あらゆる場面において感情をコントロールして対応できる	①自己の感情をコントロールでき、相互関係を深めることができる ②現場の接遇改善に向けて手本となり、指導ができる ③利用者・スタッフに安心感を与え信頼される存在となる
	コミュニケーション	①自分の考えや思いを他者に伝えることができる ②他者の考えを良く聞き、尊重することができる ③困っていること、悩みなどを、同僚やプリセプターに相談できる	①専門職としての考えや思いを相手に伝えることができる ②新人に関心を持ち、話を聞くことができる	①相手を尊重した気持ちの良い人間関係を築きながら、自分の考えを話すことができる ②利用者を中心としたチームケアのために、同僚、多職種とコミュニケーションが十分に図られ良い人間関係ができる	①組織の一員としての自覚を持ち、苑内外の関係者と、良好な人間関係を築くことができる ②チームケアにおいて平等な関係が維持されるように、調性的役割を果たせる
【介護技術の評価に関してはキャリア段位制度認定を採用する】	ケアの提供	①指導を受けながら、介護手順・介護マニュアル・キャリア段位制度評価基準に基づいて、基礎的な介護技術が実践できる ②ケアプランの意味・目的を理解し、担当受け持ちとしての役割が理解できる	①問題を明確にし、指導を受けながら自立支援の理念を取り入れ、介護過程を展開できる ②エビデンスに基づいて判断でき、利用者・家族の反応を見ながら安全・安楽にケアが実践できる	①利用者の状況に合わせて、創意工夫した介護技術を用いて、根拠を持った介護が実践できる ②身体的・精神的・社会的背景、潜在的問題など、アセスメント能力を高め、専門性の高い介護展開ができる ③自分行なうことができる範囲を見極め、資源を活用し、介護に活かすことができる ④行った介護が、利用者のニーズを満たしているか評価できる	①予測をふまえた判断ができ、長期的展望に立った介護展開が実践できる ②医療的ケアや複雑な状況を判断・理解し、利用者が満足する介護実践ができる ③他職種との連携、アプローチを組み入れて介護実践できる
	安全	①安全管理指針について理解することができる ②安全について学び、介護事故の怖さを理解し、安全についての確認を行うことができる ③身体拘束について理解し、廃止に向けた視点でケアすることができる	①安全管理指針について理解し実践することができる ②介護事故防止のために、利用者の動きに注意をはらい、安全に気を配る事ができる	①介護事故予防のために、利用者を観察しながらリスクマネジメントを行うことができる	①介護事故予防のために、周囲や状況を観察しながらリスクマネジメントを行い、現場へ反映することができる ②介護事故の発生後、その状況をアセスメントし、再発を講じることができる
	感染	①感染対策マニュアルに沿って、指導を受けながら行動できる	①感染対策マニュアルに沿って行動できる	①感染対策マニュアルに沿って行動し、周囲への指示と状況説明ができる	①感染対策マニュアルに沿って行動し、リーダーシップを発揮し、周囲への指示ができる
	救急救命	①急変・緊急事態発生時に、急変時対応マニュアルに沿って、指導を受けながら行動することができる ②BLS研修にて心肺蘇生法を学び、指導を受けながら実践することができる ③災害発生時、指導を受け行動できる	①急変・緊急事態発生時に、急変時対応マニュアルに沿って行動することができる ②災害発生時、指示を受けながら行動できる	①急変・緊急事態発生時に、周囲と協力し自立して行動することができる ②災害発生時に、支援を受けながら自立して行動することができる	①急変・緊急事態発生時に、リーダーシップを発揮し対応できる

【カガネメント能力】	社会面	<ul style="list-style-type: none"> ①施設の特性とその役割が理解できる ②施設の理念や目標が理解できる ③施設内環境の不備や備品の破損などに気付き報告ができる ④1日の業務計画をたて、時間内に終了させることができる ⑤報告・連絡・相談ができる ⑥自己の職務及び健康面の管理ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①施設の特性とその役割を理解し、目標達成に向けて意見を述べるができる ②周囲の状況に合わせて、自身の業務のスケジュールを調整し、効率良く一定の時間内に終了することができる ③環境・物品に気を配り、不備に対処することができる ④コスト面を意識し、改善に向け意見を述べるができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①目標達成に向けてチームリーダーを補佐し、自らも主体的に行動することができる ②業務についてリスクアセスメントを実施し、問題解決・業務改善に向けての意見を述べるができる ③コスト面を意識し、改善に向け対策を考え実践することができる ④環境や物品管理について改善に繋がる問題提起ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①チームの目標達成のために活動を推進することができる ②管理に関する関連部門の役割を理解し、上司と協力し行動できる ③介護の質を保証した業務改善について、建設的な意見を述べるができる ④改善に向けた活動の推進ができる ④リスクマネジメントの視点で周囲をみて判断することができる
	チームでの協働 / コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ①施設での目標達成のための活動に参加出来る ②他職種との連携、職務の内容を知ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①チームの目標達成に向けて割り当てられた役割を遂行できる ②チームメンバーとの情報交換をする際に、プライバシーを守ることができる ③新人に関心を持ち、積極的にコミュニケーションを取り良好な関係を築くことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①チームの目標達成に向けて周囲の状況を把握しながら調整することができる ②チームメンバーとの情報交換をする際に、プライバシーを保持しながら、必要各所への情報提供を行うことができる ③周囲への関心を持ち、積極的にコミュニケーションを取り、良好な関係を築くことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①周囲の意見を集約、問題提起しながら、そのプロセスをマネジメントし、導くことができる ②チームリーダーの役割が果たせ、チーム・部署内を円滑に運用できるよう調整・行動ができる ③チームの円滑な運営のため、チームメンバーと積極的な関わりを持ち、良好な関係性を築き上げ管理することができる